

お知らせ

バスによる被災地へのボランティアの受入れも始まっており、今後加速する復旧・復興に向けても、関係車両の円滑な交通が確保されるよう適切な対策を実施するなど、警察では引き続き、被災地において積極的な活動を展開しています。

本日の派遣人員数

約1,100人

延べ派遣人員数
(令和6年1月1日以降)

約41,700人

安全・安心の確保

【特別自動車警ら部隊】（パトロール活動等）

32都府県警察 約420人（2月5日）
(青森、岩手、宮城、福島、警視庁、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡、福井、岐阜、愛知、三重、京都、大阪、兵庫、奈良、山口、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島)



- ◆ 石川県警察及び特別自動車警ら部隊が、輪島市等においてパトロール等を実施し、避難所219か所において警戒（2月5日）
- ◆ パトロールの状況を情報発信

★防犯カメラの運用★

輪島市、珠洲市等3市4町に設置



★機動隊員による不審車両検問・パトロール★

輪島市、珠洲市を中心



犯罪認知状況

【災害に便乗した刑法犯の認知件数（石川県内）】
避難中の家屋への空き巣や避難所における置引き等

38件（発災後2月5日17時までの把握分）

【特別生活安全部隊】（避難所における相談対応等）

12府県警察 約60人（2月5日）
(青森、宮城、山形、埼玉、千葉、静岡、福井、愛知、三重、滋賀、京都、兵庫)

- ◆ 石川県警察及び特別生活安全部隊が、能登町等の避難所40か所を訪問し、相談対応や防犯指導等を実施（2月5日）



【特別機動捜査部隊】（初動捜査活動等）

11県警察 約50人
(茨城、栃木、埼玉、千葉、神奈川、山梨、長野、福井、岐阜、愛知、三重)

交通流の確保、被災地域の搜索等

交通規制実施状況 (2月6日14時現在)

災害復旧や救援物資輸送に係る車両に特化するための交通規制を実施

- のと里山海道下り線 (金沢→穴水方向)
柳田 I C ~ 横田 I C



- ◆ 石川県警察と共に、青森県警察、岩手県警察、宮城県警察、秋田県警察、山形県警察、福島県警察、滋賀県警察、京都府警察、和歌山県警察 (約140人) が、輪島市やかほく市等において、交通整理等を実施

【広域緊急援助隊・緊急災害警備隊】 (救出救助活動、交通整理等)

15都道府県警察 約500人
(北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、警視庁、富山、滋賀、京都、兵庫、和歌山、鳥取、徳島)



- ◆ 石川県警察及び広域緊急援助隊・広域警察航空隊において延べ114人を救出救助 (2月6日12時現在)
(内訳：輪島市75人、七尾市2人、珠洲市30人、能登町4人、志賀町3人)

【広域警察航空隊】(被害情報収集活動等)

6県警察 4機・約20人
(福島、埼玉、山梨、愛知、岡山、香川)

- ◆ 広域警察航空隊において、情報収集活動等を実施

被害状況

(2月6日14時現在)
(石川県まとめ。石川県において発表済み)

死者240人
(内訳：七尾市5人、輪島市103人、珠洲市101人、羽咋市1人、志賀町2人、穴水町20人、能登町8人)

【情報通信支援体制】

(警察通信施設の維持等)

中部管区警察局、福井、愛知、三重 約10人

- ◆ 石川県情報通信部が、他県から派遣された警察情報通信職員や広域警察航空隊と連携し、道路が寸断された警察通信施設へ空からの燃料搬送を実施



体制

| | |
|-------------|--------------------|
| 1月1日 16:10頃 | 発災 |
| 同日 16:11 | 警備局長を長とする災害警備本部を設置 |
| 同日 17:30 | 次長を長とする特定災害警備本部に改組 |
| 同日 22:40 | 長官を長とする非常災害警備本部に改組 |

※ 数値等はすべて速報値のため、今後変更される可能性があります。

活動の様子



避難所における防犯指導（防犯ブザーの使用法の教示）



上記のほか、1月16日までに群馬県警察、埼玉県警察、山梨県警察、長野県警察、静岡県警察、新潟県警察のパトカーが石川県内の警戒・警らに従事

全国警察のパトカーによる石川県内での警戒・警ら

～被災地域の安全・安心のために～

(一部地図上をクリックすると、パトカーによる警戒の様子が閲覧できます。今後、閲覧できる警戒動画を増やしていきます。)

パトロールの状況の情報発信（警察庁ウェブサイト）



土砂災害現場における捜索



七尾市における交通規制